

八木秀次 やぎ ひでき 電波工學者、工學博士。明治十九年一月、千八百大  
阪生れ、昭和五十一年一月、千一百没（八六一七）。筆名高木宗二郎。  
明治四十一年東京帝國大學工科大学電氣工學科卒。大正二年歐洲に留  
學。八年東北帝大教授、同大に電氣通信研究所を設け。十五年八木・  
宇田アンテナを開発。昭和八年大阪帝大教授、十七年東京工業大學學  
長、十九年技術院總裁。この間電波兵器の開発を指導。二十一年大阪  
帝大總長、二十八年參議院議員、三十一年文化勳章受章。

著書 『蟻の咳拂ひー科學者の隨筆』（昭和三年二月、二十五日修教  
社）、『技術人夜話』（昭和二十八年一月、二十五日河出書房）、『隨  
筆寄席・第一集』（合著、昭和二十九年五月、二十五日日本出版協同株  
式会社）等。